



令和7年度 薩摩川内市立川内小学校 学校経営グランドデザイン(川内中央中学校区小中一貫教育)



校訓 よりかしく よりやさしく よりたくましく

学校教育目標 「自ら学ぶ 思いやる がんばる」川内っ子の育成

諸法規・法令
県・地区・市の教育方針
学習指導要領

合言葉 ひとりでできる みんなともできる

【めざす学校の姿】

子供たちが安心して学べる学校
環境が整い落ち着きのある学校
保護者・地域から信頼される学校

【めざす子供の姿】

自分からすすんで学ぶ子供
気持ちのよいあいさつができる子供
めあてを決め、最後までがんばる子供

【めざす先生の姿】

子供と一緒に学び続ける先生
子供のよさを見付けられる先生
子供や保護者に信頼される先生

◎ 「自分からすすんで学ぶ子供」とは、学習内容や目標を自分のこととして捉え、進め方を見直しながら粘り強く学習を進め、自分自身の学習活動を振り返って新たな学習につなげる子供の姿（よし、今日は、このことをがんばろう）（どうすればできるかな、他に方法はないかな、もう少しやってみよう）（こうすればよかった、次もやってみよう）

〔学校経営の基本方針〕

☆ 子供一人一人を大事にする。 ☆ 子供が夢中になる学びを支援する。 ☆ 保護者・地域と効果的な連携を図る。

◎ 「子供一人一人を大事にする」とは、さまざまな背景や課題を抱える子供たちがいる。どんな子供でも、一人一人が大切にされ、一人一人のよさが認められ、自分のよさを発揮できるような教育環境を整えるということ。子供たちが、「学校は楽しい、学校に自分の居場所や活躍できる場所がある。」と言えること。

〔重点目標及び努力点〕

特別支援教育の充実

- 生活単元学習・自立活動・共同学習の充実
- 組織で取り組む就学支援(学びの場の決定)

自分からすすんで学ぶ子供の育成

- 対話活動の充実
- 振り返る場の設定
- 自学の定着・充実



子供と向き合う時間を確保するための業務改善

- 業務改善の目的の共通理解
- 日々の生活の質や教職人生を豊かにし、自らの人間性や創造性を高め、継続的に質の高い教育を提供

不登校傾向児の立ち直り支援

- 校内ケース会議→共通理解→体制づくり
- 関係機関との連携(SC, SSW, スマイルルーム)

スキルアップ 学習指導力・学級経営力の向上 → 生徒指導・保護者対応の負担軽減

- 学力をつける、よりよい人間関係の構築ができる (子供の言葉や姿を通して保護者の信頼を得る)
- 子供の言葉「授業が分かる」「学校が楽しい」
- さらに、意図的・計画的に学校と保護者、保護者同士の人間関係を構築する。(学校行事, PTA 活動)

＜小中一貫教育目標＞

川内中央中校区らしい魅力ある小中一貫教育の推進
～四つ葉のクローバープロジェクトによる教育実践を通して～

「学力向上の推進」

「生徒指導の充実」

「共通実践」「一事徹底」

「特別支援教育の連携強化」

「キャリア教育の充実」